人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方法</p>	<p>研究の名称 2 型糖尿病入院患者における GLP-1 受容体作動薬の有用性と安全性に関する観察研究</p> <p>研究の対象 2011年4月～2019年10月までに当院で入院中に GLP-1 受容体作動薬（リラグルチド・デュラグルチド）を導入された2型糖尿病の方</p> <p>研究の目的 2010年に本邦で使用可能となった GLP-1 受容体作動薬はインスリンを血糖が高い時にだけ分泌させ、血糖上昇に關与するホルモンであるグルカゴンを抑制することによって血糖値を低下させます。さらに食欲抑制作用や消化管の運動を抑制して体重を減少させるという報告もあります。しかし、実際に入院して導入した方の中長期的な有効性やこれまで主に行ってきたインスリン療法との比較についての報告はまだ少ないのが現状です。 我々は GLP-1 受容体作動薬が糖尿病診療において、より安全な血糖コントロールの改善に有用であると考えています。それを検証するために、本研究では診療で得られた資料や臨床データを用いて解析を行うことを目的としています。</p> <p>研究の期間 対象者：2011年4月から2019年10月までに GLP-1 受容体作動薬（リラグルチド・デュラグルチド）を入院で導入された方 解析期間:2019年11月1日～2020年3月31日まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法</p>
------------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報： 情報：血液・尿などの検査データ、年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、糖尿病に関連した合併症に関する診療データなど
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 医学部第二内科学講座 釣谷大輔
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：第二内科 内分泌代謝内科 担当者：釣谷大輔 TEL：053-435-2263（内線4024） FAX：053-435-2354 E-mail：dtsuri@hama-med.ac.jp</p>
--	--